

会議概要

会議名称	第9回中央公民館建設検討委員会
日時及び場所	平成27年11月21日（土） 9:30～12:00 岩美町役場 中会議室
出席者	委員：湊委員長、稲葉副委員長、片山委員、吉村委員、米村委員、山本委員、 日下部委員、小山委員 事務局：寺西教育長、松本次長、山口館長、中島課長補佐、小谷係長
要旨	片山委員案について検討（前回に続き）

○湊委員長あいさつ

○協議

(1) 片山委員案について（説明・意見等）

事前配布の資料を基に片山委員により全体的に考えを説明。

今までの委員会での内容、参考とする施設、施策等を踏まえ特に資料の下線部、太文字部を岩美町にあてはめてできないかと考えた。

- ・町民団体支援機能の方向（集い・繋がり・まちを創る）
- ・図書館機能の方向性（マルチメディア・センター）

1 町民団体支援機能の方向（集い・繋がり・まちを創る）について

公民館の役割として地域の活動拠点としての役割

岩美町が官民一体となって町を盛り上げよう協働の町づくりの視点から中央公民館が積極的に町民団体、各種の団体を支援する仕事が必要になるのでは

武蔵野プレイスを参考に岩美町版に考えてみた

各団体の事務局は時間、金銭面、人的、場所、などさまざまな負担がかかっているのではその結果うまく運営や活動ができないのでは

町民団体が生まれ、活発になれば中央公民館の利用頻度も上がるのでは ⇒ 官民が一体となった活動も

1 基本理念

交流人口を増やすことがポイントに（町内外）
町内で活動する団体等を支援（町内外）

2 活動の内容と環境整備

活動を支援する組織が必要「岩美協働のまち推進協議会」 民が民を支援する。

団体支援エリア⇒事務室を充実させてそこに団体が共有、同居する。中央公民館を事務局に利用する
印刷製本工房が活動のポイント 団体活動が周知されない⇒ 機関紙など発行できるように

大学などのサテライトを持つことで社会教育、まちづくりへ繋がる「知識、知恵」の拠点づくりをすべきでは
大学などは現在学生を地域など外に出すことをしている その活動拠点にしてはどうか（場所の提供）

3 施設設備

ハード面よりソフト面の充実のほうが強い

食生活加工施設は地区公民館が整備されてきている。道の駅にもある そこを利用していけばいいのでは
健康ゾーンは 用地が必要となるため現位置の場合は無理

ソフトが大事ということは今でもやり方によってはできるものがあると思う。立派な施設を作っても最後は人
立派な施設を作ってもやっぱり人、ヤル気が肝心 ソフトを十分発揮できるハードを考えていかなければ

大学のサテライトを置く 岩美を研究の対象とする。産学共同機関 町内に学生が来る

調理室については、生涯学習の中でもととは生活向上などの目的もあったが、新たに設けるイメージはそれだけではなく6次産業(就業)へ繋がることも考えては

民が中心となって展開していく 町内のみでなく町外の団体でも町内をステージに活動する団体を支援する。
⇒交流人口増

町内外を基本理念等に入れておいていいのか
あくまでもは町民の活動拠点だが、そこだけでなく町外でも町をステージに活動する、
知ってもらふ拠点としての施設

2 ・図書館機能の方向性 (マルチメディア・センター)

マルチとは⇒多様な情報空間にしなければと考えると
今の図書館は一般向けしていないのでは (小説などが多い) ⇒本離れ

多様な情報媒体を持ち、情報に強い町民を増やす。同時に活字につなげる(特に若い人)

図書館=静か のイメージだが、語れるスペースも持って「カフェ」⇒ 気軽に使える

図書館=メディアセンター 本の貸出だけではない 図書があるという施設から情報がある施設
情報収集、情報提供⇒様々な課題解決へ

イメージは1階にインターネットや新聞などを見ることが出来るカフェ等の空間、2階に静かに読書、学習できる空

情報発信の拠点 ケーブルテレビ放送局でもできないか

閉架式の書庫 蔵書は増える スペースが必要 蔵書数を持つことがいいことなのか
他の施設の空きスペースを使うことも(学校の空き教室)
本離れは進む、人口も減る ⇒ 立派なことに越したことはないが考えないと「金食い虫に」

蔵書数を自慢にする考え方はやめた方がいいのでは

特徴、得意な分野を整備した方がいいのでは(新温泉町 加藤文太郎… 山岳関係)
岩美なら澤田三を顕彰したものとか

現在貸出は、県との連携でかなり便利になっている。但馬との連携もできている

図書館に行くことが情報と人との出会いの場、にぎわいの場になれば ⇒ 人が集まる

リファレンス以外に、情報ナビ、コンシェルジュにより起業、産業につながる情報センター

本が身近にある環境の充実が必要 (現在でも地区公民館や町内施設へ本を配架しているがPR不足の面も)

図書館の中身、運営については図書館協議会などで協議してもらふ

全てを行おうとするとかなりの面積も必要 複合施設としてではなく併設あるいは独立施設になる

基本理念の(2)中に「集い」を入れてもいいのでは

新しい図書館が出来れば移住定住につながるのか ⇒ 人が動く 他とは違う図書館
滞在できる場所 (第三の居場所)

図書館で活性化できるか? 将来の人がどんな施設なら利用するだろうかを考えなければ

これからの時代に対応する図書館 高齢化、少子化、高学歴化 ⇒ 文化度を上げる

岩美はインフラ整備により変わるのでは(ベットタウン、リゾート…) 文化意識が高い人も来るのでは
⇒文化施設の充実

施設としては公民館と図書館をどう一つにしていくなか 全てできればいいのだが

中央公民館はレジャー施設ではない キーワードは文化 ⇒ これからは産業につながっている
これからの産業は情報

運営はどういう組織で誰がするかが 町を超えた民間も 町内の民間出身の人

年代によって求める本も違う 若い家庭はゆっくり本を読む時間もないことも
スタッフ、事業(イベントなど)に充実 人材の事も基本理念に重要

今後、いままでの意見や片山委員の提案を踏まえてまとめていく。全てをとるわけにはいかない
絞ることもあるがまとめていく。

場所のことはまだこれからだが、もし現位置なら地下倉庫とかは大丈夫なのか
たぶんかなり費用はかかるのでは
近隣で地下があるのは、すこやかセンター(機械室)、役場の下には地下水対策があると聞いている。

考え方の中に就労、雇用の創出についても基本理念、基本方針の中にも盛り込んでいく方向でまとめていく

今回は運営や場所などについて話し合いたい。

今回は12月5日土曜日 午後2時から 場所は中央公民館